

ぶらたなす

NO.7

神無月

(かなづき)

長井高等学校

図書委員会

図書館

2024.10.30

読書の効果

読書をする効果で代表的なもの3つを紹介します。一つ目は脳の活性化や脳のつながりの強化、記憶力や集中力の向上など脳に深い影響を与えてくれることです。二つ目は語彙力や読解力、論理的な思考力が育ちます。三つ目は、想像力が豊かになり、新しい視点を提供してくれることです。選書のコツは最初から難しそうな本を選ぶのではなく、自分が興味を持った本や友達から紹介してもらった本、あるいは図書委員の紹介の本から選ぶといいと思います。本を読んで後悔することはないと思いますので、ぜひ時間があれば本を手にとってみてください。

(1-2 図書委員)

図書委員のおすすめの本

『ボッコちゃん』

星新一：著
新潮社

本書はショートショートという短編よりも短いお話が50編収録されている。内容はファンタジー、SF、寓話、サスペンスなどさまざまなジャンルを扱い、予想できない結末へと導いてくれる。

僕は「殺し屋ですよ」というお話が特別におすすめの作品である。詳細は省くが、この本の結末は読んでみなければわからないので、ぜひ実際に図書館に足を運んで読んでみて欲しい。とても驚くはずだ。

他にも感動できる話や笑えるものもあるので興味がある人は、朝の時間や昼休みなどにちょっと変わった世界を体験してみたいかがだろうか。

(1-2 図書委員)

お知らせ

11月1日・11月15日は都合により
図書館は終日閉館となります。

図書館長より

押忍！ 図書館長です。突然だが、こんな話を聞いたら、君はどう思うだろうか。曰く、「体重60キロにも満たない優男が、100キロ近いデカブツを、手を握っただけで跪かせた」。曰く、「無精髭のイケオジが、掴みかかってきた100キロ近いデカブツを、ほんのひと呼吸で投げ捨てた」。「バトル漫画じゃあるまいし！」？ いや、現実だよ。だって、件の「デカブツ」は、この私なんだから。

という訳で、今回は、「優男」こと合気道家・白川竜次(しらかわ・りゅうじ)の『美しい合気道』(KADOKAWA)と、「イケオジ」ことシステムインストラクター・北川貴英(きたがわ・たかひで)の『逆境に強い心のつくり方』(PHP文庫)を紹介しよう。

両者に共通するのは、言語化能力の巧みさだ。ライターとしての経歴も持ち、著作が二桁を超える北川はもちろん、書籍を出版したのは今回が初めてである白川も、自身が修め、なお高みを目指し続ける武術の魅力について、初心者にも親しみやすく語りかけてくる。

彼らによれば、武術とは、〈勝利(=打ち負かすこと)〉を目的として他者を傷付ける技術ではない。「(相手の技を)『受け入れる』ことは競技においては『負け』を意味する」が、合気道には「勝ち負けの概念がありませんので、怪我をしないために最初から受身を積極的にすることが出来ます」(白川)。また、システムは「分厚い本」であり、「比較したり競い合ったりすることなく、(皆で)力を出し合っただけで少しずつ理解していく」(北川)ものだという。調和を重んじ、破壊を否定する彼らの思想と人柄は、修めた武術の本質そのものだ。

君達が日夜励む勉強や部活動も、容易く勝負と競争に絡め捕られ、(我々も含めた)私達は、安易に〈強さ〉を希求してしまいがちだ。だが、そこに強さはなく、ただ〈勝利〉があるに過ぎない。では、強さとは何か。それは私にも分からないが、その指標の一つが、白川が標榜する「美し」さなのだと思う。